

BARÁTSÁG

バラッチャーグ(友情)

日本ハンガリー友好協会会報

2022年6月9日発行

発行所: 日本ハンガリー友好協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-28-11

クレール五反田609号

TEL: 03-3473-9870 FAX: 03-3440-9495

<http://www.jpnhun.org>

No.174

皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。2年半にわたりコロナが継続し、なかなかハンガリーに行くこともできませんでしたが、そろそろハンガリーが恋しくなってきました。

皆様がハンガリーに行くことができるようになればという願いを込めて、美しいハンガリーの写真をお届けします。

上から、ブダペシュト：ドナウクルーズ、コウノトリ、ビーチ、ヴィシエグラード、ホルトバージのひまわり畑（写真は、ドナウ・フォトクラブ：田崎龍一氏提供）
(ハンガリーの国章は、3頁 事典参照)



小林研一郎 in 群馬 3年間の足跡



*写真は、「群馬交響楽団でミュージック・アドバイザーを3年務めた小林研一郎さん」

本会副会長で「炎のコバケン」で知られる指揮者の小林研一郎さんが、群馬交響楽団(群響)のミュージック・アドバイザー(MA)の任期3年を終えて3月末で退任しました。

小林さんは音楽監督を務めた大友直人さんの後を受けて2019年4月、群響を全体的に監修するMAという肩書で就任。お披露目となった同月の高崎市の群馬音楽センターでの定期演奏会ではベートーベンの交響曲第3番「英雄」などを、全身を使った力強い指揮で満員の聴衆を魅了しました。

演奏会終了後は聴衆と「ふれあいトーク」を行い、自身の指揮者デビューは群響で、恩師・山田一雄さんから勧められたという逸話も披露しました。また同年9月には高崎市出身で、ハンガリーとも縁のあるピアニストの金子三勇士さんとも共演しました。

新型コロナ下でも、制約の多い中で活動。群響の特色として県内各地や学校を巡回する移動音楽教室があります。小林さんは21年5月、6月に高校音楽教室の4公演に参加して「ユーモレスク」を人生に例えて解説するなど、音楽の楽しみ方を伝えました。

3月19日、小林さんのMA退任となる今年度最後の定期演奏会。チャイコフスキーの交響曲第5番など力強くタクトを振り、高崎芸術劇場の満員の聴衆1700人から感謝とねぎらいの拍手が贈られました。

アンコール曲は「こんな時勢なので」と「ダニー・

ボーイ」。戦地のわが子を思う母の心境をつづる歌に、涙を流す観客も見受けられました。

今後も小林さんは、桂冠指揮者として群響を支援します。健康に留意されて、ますますの活躍をお祈りします。

群馬県高崎市 塚本 博

翻訳家岩崎悦子氏の蔵書目録



2019年にハンガリー文学翻訳家岩崎悦子氏のご逝去され3年の月日が経ちました。このたび、晩年お住まいの衣笠ホームからお預かりした219冊のハンガリー関係の蔵書目録が完成しましたのでご報告いたします。

蔵書には岩崎氏の翻訳された、『薔薇の展示会』(エルケーニュ・イシュトヴァーン著)、『運命ではなく』(ケルテース・イムレ著)のほか、コンラド・ジェルジュといった現代作家や20世紀初頭の女流作家カフカ・マルギットの作品の原著など、ハンガリー文学、言語に関する、貴重なハンガリー語の資料が含まれています。

岩崎氏は1977年からハンガリー語講師として、約30年間教授され、友好協会、東京外国語大学において多くのハンガリー語学習者を育てました。

また、1992年の第2回ハンガリーフェスティバルの後、友好協会内のサークルとしてハンガリー文芸クラブを発足させ、代表となり、2000年の第3回ハンガリーフェスティバルでは作家エステルハージ・ペーテルを招聘し講演会「文学の楽しみ」を開催しました。

私もかつて23年前、友好協会のハンガリー語講座で教えを受け、このたび恩師である岩崎氏の蔵書目録を作成する機会を頂き光栄に思います。その貴重な蔵書目録からは、ハンガリー文学の紹介者として第一線で活躍されていたお仕事ぶりを詳しくうかがうことができます。

目録は貸出方法とともに友好協会HPにてPDFでご案内いたしております。

ぜひご活用ください。

ハンガリー文芸クラブ 代表 柴なほ



『中欧・東欧文化事典』より、 ハンガリーあれこれ

昨年出された『中欧・東欧文化事典』では、200名近い中欧・東欧研究者が執筆し、中でもハンガリーについては、40名近くのハンガリー関係の方々が執筆されています。順次、皆さまが知りたい人気のある項目について、Barátságでもご紹介していきたいと思えます。

今回は皆様がハンガリーに行かれるときには必ず訪れる、ブダの王宮の側にある、漁夫の砦について、桑名映子さんにご執筆頂きました。

漁夫の砦(夜景)



漁夫の砦：桑名映子氏撮影

今では観光名所となっている「漁夫の砦」ですが、中世にはブダの王城を守る防壁の一部をなしていました。

名前の由来には諸説あり、丘の麓にある街区が「漁師の町」と呼ばれていたからとも、王城の防衛を漁師組合が担当していたからとも言われています。

かつてハンガリーを支配していたハプスブルク帝国は、この砦を軍事施設とみなし増改築を進めましたが、都市の景観には無関心でした。1870年代以降、ブダペシュト市は王城の丘の景観整備に乗り出し、漁夫の砦はシュレク・フリジェシュの計画にもとづき美しく改修・再建されました。

1905年に完成したネオ・ロマネスク様式の砦は、戦争や大気汚染の被害を生き延び、1990年代の改修・清掃作業を経て、本来の白い外観を取り戻しました。

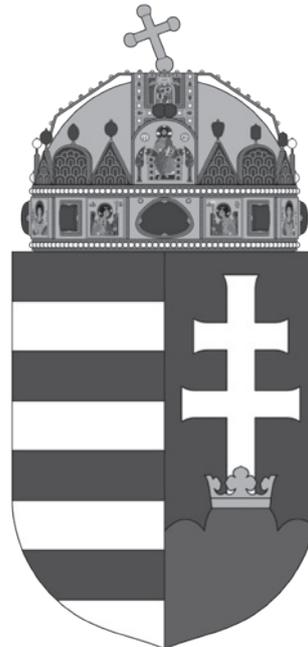
ここから眺めるドナウ河とペシュトの街並みは息を呑むほど美しく、周辺地域と合わせてユネスコ世界遺産に指定されています。

聖心女子大学 桑名映子

「ハンガリーの国章・国旗」(抜粋)

ハンガリーの国章・国旗については、民俗学研究者の、デアーク・エーヴァさん(エトヴェシュ・ロラード大学)(桑名映子氏訳)が、執筆されています。

ハンガリーの国章



ハンガリーの国章は、左側は、赤と銀のストライプ、右側は、2本の横棒を持つ「二重十字」、そして右下の3つの丘は、中世以来の伝統を持つ、マートラ・ファトラ・タトラ山を示しています。左の4本の銀色の線は、ハンガリー王国を流れる4つの大河、ドナウ・ティサ・ドラヴァ・サヴァ河を示しています。

上部に「聖王冠」が加えられたのは中世後期のことです。何世紀にもわたり、「聖イシュトヴァーンの王冠」とみなされてきましたが、実際にはイシュトヴァーン王の時代より後に制作されました。

聖王冠は2000年に国立博物館から国会議事堂に移され、王笏、宝珠、戴冠式用の宝剣と共に国会議事堂内に展示されています。

ハンガリーの国旗



ハンガリー国旗は、国章の色からきている赤と銀のストライプが国旗では赤と白で表現され、加えて、近世初期以降、三つの丘の緑が使われるようになりました。3色が国旗としてはじめてつかわれたのは、1848年革命及び独立戦争の時期であり、ハプスブルク家の黒と黄に代わる国民の旗印となったとされています。

『ローベルト・シュトルツの青春』公演



日本オペレッタ協会は『ローベルト・シュトルツの青春』の公演を、コロナ禍の為、二年ごしの開催となりましたが2022年2月27日に北区王子の北とびあつつじホールにて、万全の対策で本番を迎え、盛況の中、無事に終えることが出来ました。奇しくも前の大戦前夜、ユダヤの血をひく人気作曲家のシュトルツはゲシュタポに捕らえられましたが、しかしすんでのところでアメリカへ亡命。当時二十歳のアインツィさんの献身的な活動で、二人は40歳の年齢差を越えてアメリカで結ばれ結婚。更なる作曲活動を全うし、数多くの名歌を残されました。珠玉の歌をちりばめた愛のオペレッタです。 来年は日本オペレッタ協会の45周年記念として、2023年3月12日(日) 北とびあさくらホールにてヨハン・シュトラウスの名作『こうもり』を上演致します。ゲストにベルバラの作家、池田理代子さんを迎え、華やかに歌い演じて花を添えていただきますので、どうぞお楽しみに。

日本オペレッタ協会理事長 田代誠

日本ドナウフォトクラブ 創立10周年記念写真展



日本ドナウフォトクラブ(DPC)は、2022年2月17日から23日まで、創立10周年記念写真展「Hungary plus」を東京四谷のポートレートギャラリーで開催しました。写真展は10周年に当たる昨年開催する予定でしたが、新型コロナの影響で延期になっていました。

13名の会員とハンガリー・ルーマニア在住の3名の名誉会員が撮影した風景、スナップなど44点の作品のほか、10年間の活動の歩みをニューズレターから抜粋して展示しました。コロナの関係で、セレモニーやパーティーが出来ませんでしたので、記念写真を撮るために、20日に皆で集まりました。

この日は、ハンガリー文化センターのナジ所長や友好協会の瀬川常務理事ご夫妻も見えられ、一緒に写真に収まって頂きました。会期中はコロナ禍にも拘らず100名を超える来場者があり、好評を得ることが出来ました。

DPC会長 田崎龍一

セーケイ地方の刺繍と民俗衣装



トランシルヴァニア(ルーマニア)のカルパチア山脈から西側は、セーケイ地方と呼ばれる所です。第一次大戦前まではハンガリー王国の国境に位置し、大きな木彫りの門「セーケイの門」に象徴されるように、セーケイ人は特権をもつ民族として辺境を守備してきました。質素で堅実な民族性を物語るべく、衣装はそれほど華やかなものではありませんが、女性は地域によって異なる縞模様の織りのスカートとベストを、男性は白いウールのスリムなズボンに黒いベストを装います。黒い組み紐の飾りがベストやズボンに施されるほか、近年ではエプロンにも刺繍が施されるようになりました。南部では、早くに近代化の波が押し寄せ、20世紀の初め頃にはすでに民俗衣装が廃れてしまいました。



さらに1970~80年に民俗舞踊団の装う、赤と黒の縞模様に膝丈のスカートという形が広まるとともに、セーケイの民俗衣装が画一化してしまいました。住空間を彩る手仕事としては、ウドバルヘイ周辺の刺繍が有名で、ここでは組紐のような細いチェーンステッチ、もしくはアウトラインステッチに多様なステッチを組み合わせたものが枕カバーやシーツに施されたものが見られました。現在では博物館などでわずかに見られるのみとなっています。



ザクセン地方との境に位置するアールバタク村では、かつてトランシルヴァニア全域で見られた編みクロスステッチの技法が今でも残っています。編みクロスステッチ刺繍は、1900年のパリ万博で金賞を受賞して一躍有名になりました。しかし二度の世界大戦を経て、1970~80年代頃に再び盛んになりましたが、現在では村のロマ化が進み、後継者もなく、文化の火が消えつつあります。

伝統刺繍研究科 谷崎聖子(谷崎さんは現地でハンガリー刺繍を紹介、オンラインで体験講座もされています。是非ご参加を！)

ハンガリー便り



1858年建築家イーブル・ミクローシュによって建設されたネオ・ルネッサンス様式のハンガリー国立歌劇場「オペラ座」が、今年リニューアル・オープンしました。

長い伝統の歴史を誇るハンガリー歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに、2016年ヴァイオリン奏者の長尾春花さんが就任しました。東京藝術大学・同大学院を卒業後、オーストリアを経てリスト音楽院に留学。在学中から国内外数々のコンクールで受賞し、世界中で音楽活動を繰り広げる長尾さんに、オペラ座やブダペシュトでの生活についてお話を伺いました。

<以下、長尾春花さん>

—ハンガリー留学のきっかけ—



学生時代からバルトークの音楽にとっても惹かれていました。ブダペシュトでペレーニ・エステル先生にバルトークのソロナタのレッスンを受ける機会に恵まれ、これまでにないアプローチを感じ現地で勉強したいと思い、リスト音楽院でペレーニ・エステル先生にヴァイオリンを、バルショニ・ラースロー先生にヴィオラを師事しました。

—ブダペシュトでの演奏活動・生活—

オペラ座のコンサートマスターオーディションにお誘いを受け合格後、2016年からオペラ座でコンサートミストレスをしており、2019年からリスト音楽院で指導しています。仕事に追われての生活ですが、とても充実しています。

オペラ座で弾く他、リサイタルや弦楽四重奏、室内楽など演奏の機会を戴いて、幅広く音楽と向き合う毎日です。仕事の合間の楽しみは、古くからある額縁を作る専門店や洋裁店などで職人さんと一緒に仕上がりを考えたりすることです。お買い物もスーパーではなくて八百屋さん、お肉屋さんのほうが好きです。



—オペラ座リニューアル・オープン—



5年前に改修工事が始まる前、私が就任した1年目に、改修前のオペラ座で演奏することができました。

改修後のオペラ座に初めて立ち立った時も、初めてオペラ座を訪れた時と同じような、この特別な空間で演奏できるという大感動がよみがえりました。オーケストラピットは客席の前列を取り除くことで以前より2m程客席側に広がり、ピット内の段差も自在に操作できる他、舞台装置も新しいもの変わったそうで、今後の演出の可能性が広がっていると思います。音響は以前と変わらず自然に美しく、ハンガリーの中でも屈指の音響を誇る会場です。

そして職人たちの手により丁寧にリタッチされた天井画や金の装飾は、ため息が出るほど絢爛で、全て新しくなった客席の座席はとても快適ですよ。またブダペシュトを訪れた際には、是非お越しください。

—『シゲティ弦楽四重奏団』来日公演—



2回目の来日が近づいており、準備等緊張感が高まっております。日本ではオーケストラとの共演も含めた東京や静岡など3公演の

他、高校での講演が予定されています。

* (この弦楽四重奏団で長尾さんは第一ヴァイオリンを弾かれています。昨秋、素晴らしい演奏を、ブダペシュトで聴かせて頂きました。-萩原-)

—ハンガリー国立歌劇場来日公演—

ハンガリー国立歌劇場の日本ツアーは、今年の11月に予定されています。私は同時期にハンガリーであるソロの演奏会が以前から決まっており、残念ながら今のところ他のコンサートマスターが来日する予定です。ハンガリー国立歌劇場の来日は感染症の影響を受けて2017年以来になるので、来日を心待ちにしている団員も多いようです。日本やブダペシュトでハンガリーファンの皆さまとお目にかかる機会がありましたら、嬉しく思います。

(聞き手：萩原淑子)

ハンガリー議会総選挙レポート



2022年4月3日に、4年に一度のハンガリーの議会総選挙が行われました。その結果、政権与党のハンガリー市民同盟(FIDESZ)とキリスト教民主国民党(KDNP)連合が、2010年以来4回連続となる勝利を収めました。

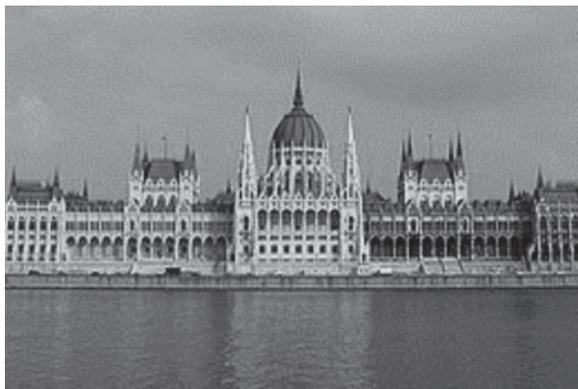
FIDESZ党首のオルバーン氏は、同日夜の勝利宣言の中で「我々は月からも見えるほどの、そしてブリュッセルからは確実に見えるほどの大勝利を収めた」と演説しました。

今回の総選挙では、野党6党は候補者をマールキ=ザイ・ペーテル氏に一本化し政権奪回に挑み、一時支持率は拮抗との見方もありましたが、結局首都ブダペシュトの小選挙区では18議席中16議席を取ったものも、地方の小選挙区や全国比例区では得票をのばすことができず苦戦。結果オルバーン・ヴィクトル首相率いる与党連合が、全199議席中、重要法案を単独で通すため必要な3分の2以上の135



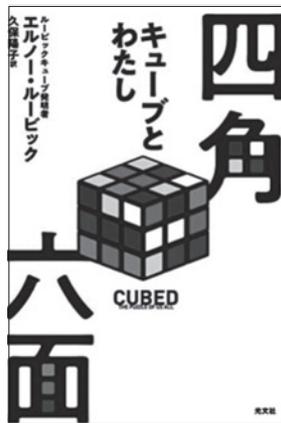
議席数を確保し、圧勝しました。

野党連合は8議席を失い56議席となり、また議席獲得最低ラインの得票率(5%)には達しないと予想されていた極右政党「Mi hazánk mozgalom (我々の祖国)」が6.1%を得て、7議席を獲得。選挙当日、投票が終わった人にはバッジが配られました。



『四角六面 キューブとわたし』

(エルノー・ルービック/著 久保陽子/訳 発行 光文社)



1980年代に一大ブームを巻き起こしたルービックキューブ。みなさんご存知のように、これは、ハンガリーの建築学者で、ブダペスト工科大学教授だったエルノー・ルービックが1974年に考案したものです。会報でもご紹介しましたが世界ルービックキューブ選

手権大会が開かれ、日本人が何度も優勝しています。

2020年末からはハンガリー文化センターで「ルービックキューブ・アーティストコラボ展」が開かれました。建築家、隈研吾氏らの作品展示もありました。

世界中に知られているルービックキューブですが、その発明者であるエルノー・ルービックについてはあまり知られていません。

本書は、ルービックがどのように考え、どのようにキューブを生み、キューブから何を学んできたかを語っている初の自伝です。ぜひ手に取って読んでみてください。

「新・大使館の食卓：ハンガリー大使館」TV



パラノビチ・ノルバート大使がTVで大使館にご招待なさり、ハンガリーの料理が、ハンガリー

各地の温泉やホルトバージ、トカイなどの案内とともに紹介されました。終わった番組ですが、是非、YouTubeなどで一部見て頂ければと思います。トカイワイン、ラーンゴシュやグヤーシュ、フォアグラ料理、マンガリッツア豚や、ジェルボーのデザートなど、美味しいお料理満載です。さらに大使館シェフによるレシピも紹介されています。

総会・懇親会のご案内

年に一度の総会・懇親会を下記の通り開催いたします。
何卒こぞって参加いただきますようお願い申し上げます。

- **開催日時** 2022年6月11日(土)
総会 12:00~13:00 懇親会 13:00~15:00
- **会場** 主婦会館 プラザエフ 東京都千代田区六番町15番地 電話:03-3265-8111
3階 ソレイユ(総会) 地下2階 クラルテ(懇親会)
- **議題** 1) 2021年度活動報告 2) 2021年度決算報告
3) 2022年度活動方針 4) 2022年度予算 5) 役員人事 他
- **会費** 1名につき 6,000円(当日集金)

参加申込方法: 電子メール(jpnhun@gmail.com)、FAX(03-3440-9495)、ホームページで
ご案内申し上げます。スペースに限度がありますので先着60名にて期限内でも締め切ら
せていただきます。

2022年度会費納入のお願い

いつもハンガリー友好協会の活動にご理解・ご支援戴きまして有難うございます。
さて、2022年度の会費納入の時期になりましたので、同封の「ゆうちょ振込取扱票」にて会費納入をお願い致します。
振込取扱票には必ずご氏名、ご住所、電話番号及び電子メールアドレスをご記入願います。
会費3年未納の方は会員資格喪失になりますので必ずお支払い願います。

カンパ協力者氏名 (敬称略)

2020年 4月	大石佳代(静岡県)、大梶俊夫(東京都)	2022年 2月	保坂岳(奈良県)、折笠博之(東京都)
2022年 1月	保科亮子(東京都)、井原英俊(沖縄県)、 杉前恵子(神奈川県)、黒川圭子(東京都)	3月	萩原淑子(東京都)、床坊千絵(石川県)
		4月	丸山竹政(埼玉県)、笠木千束(東京都)

カンパを頂きましてありがとうございます。金額につきましては、カンパそのものを多とさせて戴きまして、不掲載と致します。

新規入会者のご紹介(2022年)

1月	新藤友美(東京都)、ユハス サンディー(鹿児島県)	3月	寺田敏夫(愛知県)
2月	舟本幸一(富山県)、桑島有一(東京都)	4月	佐々木ひろ子(兵庫県)

(敬称略)

事務局からのお知らせ

原則、水曜日、金曜日の午後には事務局にできるように致しますが、留守が多くなると思います。
ご要望あれば なんなりと電話(留守電機能あり)、ファックス、あるいはEメールにて事務局宛てにお願い致します。
電話: 03-3473-9870 ファックス: 03-3440-9495 Eメール: jpnhun@gmail.com

会報・ホームページ・ブログへの記事投稿のお願い

日本全国にお住いの会員みなさまに楽しんでいただける情報を発信したいと努めております。ハンガリーに
関連する情報やイベントについてご連絡ください。連絡先 羽場久美子

ホームページ <http://www.jpnhun.org/> **ブログ** <https://jpnhun.at.webry.info>

編集後記

今回は、新年会がコロナで開かれなかったため、新年会の皆様との交流を入れる
ことができず、申し訳ありませんでした。総会、懇親会で皆様とお会いできるの
を楽しみにしています。

編集委員: 羽場久美子、桑栄美子、東孝江、萩原淑子、佐々波浩一

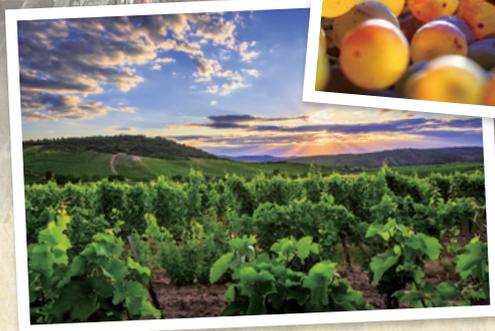
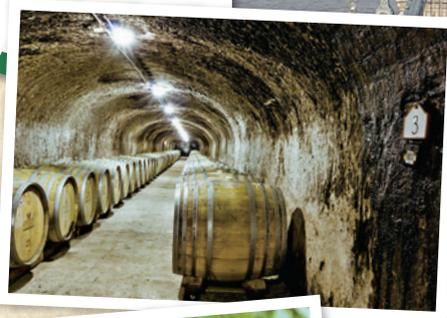




おいしいを贈る

ESSENCIA

Since 1991



世界三大貴腐ワイン トカイ・アスー・ 6プットニョシュ

深みのある琥珀色で濃厚な蜂蜜やドライプラム、ローストアーモンド、チョコレートの香りが感じられます。

濃厚な甘みが穏やかな酸とアルコール分にバランスよく支えられ、樽由来のタンニンが熟成感を伴いながら余韻の味わいへと導きます。

フォアグラのテリーヌ、ブルーチーズ、チョコレートケーキなどによく合います。



DR HONEY
食のオスカー
「グレート・テイスト・アワード」受賞!

アカシアの森からの贈り物 ハンガリー アカシアはちみつ

広大で豊かなアカシアの森で採れたハンガリーのアカシアはちみつは、「はちみつの女王」と呼ばれています。クセがなく上品で繊細な味と香り。パンやヨーグルト、料理はもちろん、ドリンクの甘味料としてもおすすめです。



アカシアの花

スズキビジネス 特販事業部

〒431-0201 静岡県浜松市西区篠原町 21339
TEL.053-440-1098 FAX.053-448-9541
ご希望の方に通販カタログ「Essencia」をお届けします。



おいしいを贈る

ESSENCIA

<https://hungary-wine.com/>

ハンガリーのワインとはちみつにこだわり約30年。
ハンガリーワインの取り扱い種類は国内最大級!



アクセスはこちら▲